



Infor LN サービス メンテナンス販
売オーダー管理 (デポ修理)

重要事項

本書に含まれる資料（あらゆる補足情報を含む）は、Inforの機密及び専有情報に相当し、かつそれを含むものです。

添付を使用するにあたり、使用者は、当該資料（当該資料のあらゆる修正、翻訳または翻案を含む）、すべての著作権、企業秘密、及びそれに関係するすべてのその他権利、権原及び利益はInforが独占所有するものであり、使用者には、別の契約（この別契約の契約条項によって、貴社の当該資料及びすべての関連する補足情報の使用が規定されます）に基づいてInforより貴社に使用許諾されたソフトウェアに関連し、またその使用を促進することのみを目的（以下、「目的」という）として、当該資料を使用するための非独占的権利以外、使用者の閲覧に基づく権利、権原及び利益（すべての修正、翻訳または翻案を含む）は付与されるものではないことを認識し、それに同意するものとします。

更に、同封の資料を使用するにあたり、使用者は、使用者が当該資料を極秘扱いで保管しなければならないこと、そして使用者の当該資料の使用は上述の「目的」に限定されることを認識し、それに同意するものとします。Inforは、本書に含まれる内容に誤りや洩れがないよう細心の注意を払っていますが、本書に含まれる内容が完全なもので、誤植やその他の誤りがなく、使用者の個別の要望を満たすことは保証しません。したがって、Inforは、本書（あらゆる補足情報を含む）の誤りまたは不備により、またはそれに関連して生じたあらゆる個人または団体に対する、あらゆる間接的または直接的損失または損害について、その誤りまたは不備が過失、事故またはその他の理由によるものであるかどうかにかかわらず、一切の責任を負わず、かつそれを放棄するものとします。

使用者の本資料の使用は、米国輸出管理法及びその他に限定しない輸出入の適用法に準拠するものとし、使用者は、本資料及びあらゆる関係資料または補足情報を当該法律に違反して、直接的または間接的に輸出または再輸出してはならず、またこれらの資料を当該法律により禁止されるいかなる目的にも使用してはなりません。

商標確認

ここに示す文字標章及び図形標章は、Infor及び/またはその関連会社ならびに子会社の商標または登録商標、あるいはその両方です。無断複製・転載を禁ず。参照されるすべての他の社名、製品名、商標名またはサービス名は各所有者の登録商標または商標です。

発行情報

文書コード	tmsmcug (U9132)
リリース	10.5 (10.5)
発行日	2017 年 12 月 21 日

目次

文書情報

第1章 概要.....	7
導入.....	7
第2章 メンテナンス販売オーダーの概念.....	9
メンテナンス販売オーダー.....	9
販売オーダー状況.....	10
販売オーダーライン状況.....	10
代替品目.....	11
有効在庫.....	11
有効在庫日付の影響.....	12
第3章 マスタデータの設定.....	13
メンテナンス販売管理パラメータ.....	13
第4章 メンテナンス販売オーダー手順.....	15
メンテナンス販売オーダーを作成するには.....	15
メンテナンス販売オーダーを作成するには.....	15
労務単価の検索パス (サービス契約).....	16
メンテナンス販売オーダーを取り消すには.....	17
コール、サービスオーダー、販売オーダーをブロック解除するには.....	17
デポ修理での原価ペギング.....	18
概要.....	18
デポ修理処理でのペグの伝播.....	18
メンテナンス販売見積へのペグの伝播.....	19
メンテナンス販売オーダーへのペグの伝播.....	19
MSO 部品ラインの作業オーダーへのペグの伝播.....	19
リンク/発生元が作業オーダーであるメンテナンス販売オーダーへのペグの伝播.....	19
フォローアップ作業オーダーへのペグの伝播.....	19
デポ修理から LN 倉庫への材料要求の伝播.....	20
時間を記帳するためのペグの伝播.....	20
雑費またはベンチストック材料費の記帳.....	21
メンテナンス販売オーダーの適用範囲ラインへのペグの伝播.....	21

デポ修理の内部外注.....	21
概要.....	21
メンテナンス販売オーダーの作成.....	21
作業オーダーの作成.....	21
商品の出荷.....	21
製品の入庫.....	22
修理活動.....	22
製品の転送.....	22
修理センターでの修理.....	22
顧客請求.....	22
内部請求.....	22
内部商業原価率.....	24
概要.....	24
商業材料費.....	24
商業労務単価.....	25
販売価格の再計算およびメンテナンス販売オーダーとの契約のリンク	25
部品メンテナンスラインでの販売価格.....	25
付録A 用語集.....	29
索引	

文書情報

目的

本書は、次の目的のために作成されたユーザガイドです。

次の概念の理解

- メンテナンス販売オーダー
- 販売オーダー状況
- 販売オーダーライン状況

次のタスクの実行

- メンテナンス販売オーダーを作成するには
- メンテナンス販売オーダーをクローズするには
- メンテナンス販売オーダーを取り消すには

本書では、読者が LN サービスに関する知識を有していることを前提としています。

本書の概要

このガイドでは、「メンテナンス販売オーダー」で利用可能な各種概念および処理について説明します。

本書の使い方

本書はオンラインヘルプのトピックから構成されています。したがって、マニュアル内の他のセクションへの参照は、次の例のように示されます。

詳細については、「LN サービスオンラインヘルプ」を参照してください。

本書で参照されているセクションを見つけるには、目次を参照してください。

下線が付いた用語は、用語集定義へのリンクを示しています。本書をオンラインで表示している場合は、下線付テキストをクリックすると、本書の最後にある用語集定義にジャンプします。

コメント

弊社は常に文書の見直しや改善を行っていますが、この文書に関するご意見、ご要望などありましたら、documentation@infor.com にご連絡ください。

送信の際には文書番号およびタイトルを明記してください。情報が具体的であるほど迅速な対応が可能です。

Infor へのお問い合わせ

Infor 製品に関するお問い合わせは、Infor Xtreme Support ポータル www.infor.com/inforxtreme をご利用ください。

製品リリースに関する更新情報は、この Web サイトに掲載いたします。このサイトを定期的にご確認ください。

Infor ドキュメントに関するご質問・ご意見は、documentation@infor.com までご連絡くださいますようお願いいたします。

この章では、「RMA およびデポ修理」モジュールで利用可能なメンテナンス販売オーダ機能の概要を示します。

導入

メンテナンス販売管理 (MSC) モジュールには、顧客からの要求をサービス提供者に登録する機能があります。要求が部品修理に関する場合は、作業管理システム (WCS) モジュールが実際の作業を管理します。メンテナンス販売オーダにより、予備部品、置換部品、または貸与部品の入出庫も処理できます。

デポ修理の場合は、メンテナンス販売管理 (MSC) モジュールは、作業を管理する作業管理システム (WCS) モジュールと密接な関係を持ちます。メンテナンス販売管理手順は、R.A. 処理やその他のメンテナンス販売処理を管理します。

メンテナンス販売オーダでは、4 種類の品目トランザクションを処理することができます。

- 部品のメンテナンス
部品が修理のために返送される場合、この処理は部品修理トランザクションとして処理できます。デポ修理の一部として修理活動を実行するには、この時点で、サービス顧客が所有する倉庫に部品が入庫している必要があります。作業オーダにより修理が実行される場合は、作業オーダのリンクが必要です。このリンクには、WCS モジュールを使用します。部品ラインは、作業オーダの完了、および計画倉庫への納入を待つ必要があります。計画倉庫から、品目を顧客に返送できます。
- 部品の納入
部品を顧客に納入する必要がある場合は、出庫は部品納入ラインから実行されます。顧客は、新規またはアップグレードのタイプの半組立品、または追加部品が必要な場合があります。部品納入ラインにより、これらの部品を顧客に納入できます。
- 部品の入庫
部品入庫ラインを使用して、状態の良い欠陥または部品を返却できます。不合格のために部品を返却したり、古くなった部品を割引価格で売り返すことができます。部品入庫ラインと部品納入ラインを組み合わせ、部品交換が実行されます。この結果、顧客は修理部品または新規部品を受け取り、一方サービス会社は欠陥部品を所有します。部品のメンテナンスでは反対のことが当てはまり、同じ部品が顧客に返送されます。
- 部品の貸付
修理、または部品使用の一時的な性質により部品がない間、顧客は短期間貸与部品を必要とする場合があります。顧客は暫定期間中この部品を使用し、その後返品します。

- 部品納入への変換
サービス部署で、貸付部品を顧客が返送する必要がないと見なした場合は、その品目について [部品納入への変換] オプションを使用します。納入した部品について、顧客に請求できます。
- 部品在庫への変換
サービス部署で、メンテナンス中の部品を顧客に返送できない (例部品を修理できない) と見なした場合、[部品在庫への変換] オプションを使用できます。原価計算中に、貸方票が作成されます。

第2章

メンテナンス販売オーダーの概念

2

この章では、メンテナンス販売オーダーで利用可能な概念について簡単に説明します。

メンテナンス販売オーダー

メンテナンス販売オーダーは、顧客にサービスの提供元、および販売に関するその他の詳細を明示する販売契約です。メンテナンス販売オーダーは、複数のライン品目で構成できます。出荷先取引先の情報は、修理、貸与、または置換を行う品目用に必須です。同様に、請求先取引先、および回収先取引先の詳細が、取引先への請求用に必要です。

メンテナンス販売オーダーは、顧客の要求を受けたときに直接入力することも、転送したコールから生成することもできます。この生成は、コール管理モジュールが顧客の要求を登録した場合に行うことができます。RMA 追跡に関する最初の処理は、メンテナンス販売オーダーの詳細を入力することです。

次のモジュールは、メンテナンス販売オーダーモジュールの機能と密接に関連しています。

- コール管理 (CLM)
メンテナンス販売オーダーは、転送コールから発生できます。コールは現行のメンテナンス販売オーダーに転送することも、新規のメンテナンス販売オーダーとして作成することもできます。
- 作業管理システム (WCS)
部品のメンテナンスラインを持つ全メンテナンス販売オーダーにより、作業オーダーが作成されます。作業オーダーの実行は、メンテナンス販売オーダーの原価計算または請求と密接にリンクしています。
- 構成管理 (CFG)
メンテナンス販売オーダーラインには、構成詳細に定義された部品の詳細が、シリアル番号付品目および設置グループの形式で含まれます。
- マスタデータ管理 (MDM)
メンテナンス販売オーダーおよびラインには、オーダーの処理を担当するサービス部署、適用範囲タイプ、およびオーダーで処理される品目が含まれます。
- 契約管理 (CTM)
メンテナンス販売オーダーラインは、該当する契約または保証の適用対象にすることができます。
- 中央請求 (CI)
処理済のメンテナンス販売オーダーは、課金の目的で中央請求に送信できます。

- 総勘定元帳 (GLD)
メンテナンス販売オーダーのすべての原価および収益が、総勘定元帳に転記されます。

販売オーダー状況

[フリー]

オーダーがマニュアルまたはコールの転送によって入力されています。

[発行済]

メンテナンス販売オーダーの状況は、[発行済] に設定されます。まずオーダーを発行する必要があります。その後さらなる処理を行います。

[処理中]

オーダーの最初のラインの状況が [処理中] に変更されています。

[完了]

オーダーの最後のラインの状況が [完了] に変更されています。

[原価計算]

オーダーのすべてのオーダーラインおよび適用範囲ラインが原価計算されています。

[クローズ]

オーダーのクローズを指します。

[取消]

オーダーが実行されておらず、オーダーライン取消理由の領域に示された理由によって取り消されています。

販売オーダーライン状況

フリー

オーダーラインの入力中の状況です。

[発行済]

メンテナンス販売オーダーラインの状況は、[発行済] に設定されます。

処理中

ライン作業手順に応じて入庫または納入のいずれかを確認することによって、オーダーライン状況が [フリー] から [処理中] に変わっています。

完了

ライン作業手順に応じて納入または入庫のいずれかを確認することによって、オーダーライン状況が [フリー] から [完了] に、または [処理中] から [完了] に変化します。

原価計算済

オーダーラインに関連するすべての適用範囲ラインが原価計算されています。

クローズ

オーダーラインに関するメンテナンス活動のクローズを指します。

取消

オーダーラインの作業が取り消され、取消の理由および日付が LN に記録されます。取消は即座に行うことも後に延ばすこともできます。取消を延期する場合、オーダーは取消のために初期化され、オーダーのクローズ後に状況が [取消] になります。

代替品目

代替品目は、標準品目が納入されない場合や標準品目が置換された場合の代替として機能します。1つの標準品目に対して代替可能な品目が複数ある場合は、それぞれの代替品目に優先順位コードを割り当てることができます。

さまざまな親品目の品目ブレイクダウンで構成要素に対して代替品目を指定できます。親品目にもとづいて適切な代替品目を選択できます。

品目ブレイクダウン関係が削除されると、該当する代替品目も削除されます。品目ブレイクダウンで変更が行われると、代替品目の該当品目を更新する必要があります。

有効在庫

品目マスタ計画には、有効在庫 (ATP) 情報が含まれます。有効在庫情報を使用して、利用可能数量を決定しオーダー承認をサポートします。

この情報を使用して、次のことができます。

- 予備部品の在庫の利用性を判断する
- 品目が利用可能な倉庫を識別する
- サービス実行日およびサービス納期を決定するために、予備部品が約束される日付を判断する

有効在庫日付の影響

有効在庫チェックが正しく実行されると、最早開始時間 (EST)、計画開始時間 (PST)、計画終了時間 (PFT)、最遅終了時間 (LFT) および計画納入日 (PDD) の有効在庫日付が影響を受けます。

下の表に、有効在庫チェックを行わない場合の最早開始時間 (EST)、計画開始時間 (PST)、計画終了時間 (PFT)、最遅終了時間 (LFT) および計画納入日 (PDD) を示します。

EST	PST	PDD	PFT	LFT
5-Apr-07	7-Apr-07	7-Apr-07	10-Apr-07	11-Apr-07

有効在庫チェックを実行する場合で、有効在庫日付が計画納入日より後の場合、有効在庫日付は次のようになります。

- EST 日付は有効在庫日付にリセットされます。
- LFT 日付は、下の表のように、EST と新規 EST の差異と同じ日数だけ増分されます。

有効在庫日付	EST	新規 EST	PST	新規 PST	PDD	新規 PDD	PFT	新規 PFT	LFT	新規 LFT
8-Apr-07	5-Apr-07	8-Apr-07	7-Apr-07	8-Apr-07	7-Apr-07	8-Apr-07	10-Apr-07	9-Apr-07	11-Apr-07	14-Apr-07

有効在庫チェックを実行する場合で、ATP が PDD より後で新規 EST が PST 日付より後の場合、次のようになります。

- EST 日付は有効在庫日付にリセットされます。
- PST 日付は 有効在庫日付にリセットされます。
- PDD も有効在庫日付にリセットされます。
- PFT 日付は、PST と新規 PST の差異と同じ日数だけ増分されます。
- LFT 日付は、下の表のように、EST と新規 EST の差異と同じ日数だけ増分されます。

有効在庫日付	EST	新規 EST	PST	新規 PST	PDD	新規 PDD	PFT	新規 PFT	LFT	新規 LFT
8-Apr-07	5-Apr-07	8-Apr-07	7-Apr-07	8-Apr-07	7-Apr-07	8-Apr-07	10-Apr-07	11-Apr-07	11-Apr-07	14-Apr-07

注意

有効在庫チェックが正しく実行されると、メンテナンス販売オーダーラインの納期が有効在庫日付で更新されます。

この章では、「メンテナンス販売オーダー」モジュールのマスターデータを設定する際に従う必要があるステップについて説明します。

メンテナンス販売管理パラメータ

メンテナンス販売オーダーを使用するには、最初にメンテナンス販売管理パラメータ (tsmsc0100m000) セッションのパラメータを設定します。

これらのパラメータの設定は、メンテナンス販売オーダーの機能に影響し、一度で設定されます。したがって、業務の機能に合わせて、パラメータを適切に設定する必要があります。

メンテナンス販売管理パラメータを設定するには

メンテナンス販売管理パラメータを設定するには、以下のステップを実行します。

ステップ 1: 番号グループ

販売オーダーの識別に使用される番号グループのコードを入力します。

ステップ 2: デフォルト

LN では、以下のデフォルト値が使用されます。

- 適用範囲タイプ
適用範囲ラインが作成されるときに使用されます。
- デフォルトサービス発生元コール
メンテナンス販売オーダーがコールから作成されるときに使用されます。
- デフォルトサービスタイプ
メンテナンス販売オーダーがマニュアルで入力されるときに使用されます。
- サービスタイプは、修理品目が保証の適用対象であるかどうかを指定するために使用されます。

ステップ 3: メンテナンス販売オーダー履歴

このチェックボックスがオンの場合、LNにより、メンテナンス販売オーダー履歴が更新されます。

ステップ 4: 警告およびブロック、

以下のパラメータが設定されている場合、LN により警告が表示されるか、以降の処理がブロックされます。

- 与信限度を超えた場合
このチェックボックスがオンの場合、請求先取引先の与信限度を超えている場合、LN により警告またはブロックが行われます。
- 信用再審査が期日を過ぎた場合
このチェックボックスがオンの場合、請求先取引先の信用再審査が期日を過ぎている場合、LN により警告またはブロックが行われます。
- 請求書が期日を過ぎた場合
このチェックボックスがオンの場合、請求先取引先の請求書が期日を過ぎている場合、LN により警告またはブロックが行われます。
- 取引先が不信な場合
このチェックボックスがオンの場合、請求先取引先が不信な場合、LN により警告またはブロックが行われます。

第4章

メンテナンス販売オーダー手順

4

この章では、メンテナンス販売オーダー手順について説明します。

メンテナンス販売オーダーを作成するには

メンテナンス販売オーダーの作成処理には、以下の活動が含まれます。

- メンテナンス販売オーダーヘッダの作成
- メンテナンス販売オーダーラインの作成
- メンテナンス販売オーダーへの適用範囲ラインの追加または修正

メンテナンス販売オーダーを作成するには

メンテナンス販売オーダーを作成するには、以下のステップを実行します。

ステップ 1: メンテナンス販売オーダーヘッダの作成

メンテナンス販売オーダーヘッダを作成して、取引先に関する一般および財務の詳細を指定することができます。メンテナンス販売オーダー (tsmsc1100m000) セッションでメンテナンス販売オーダーの定義、修正、または表示ができます。

ステップ 2: メンテナンス販売オーダーラインの作成

メンテナンス販売オーダー (tsmsc1100m100) セッションで販売オーダーのメンテナンス販売オーダーラインの作成および修正ができます。

また、シリアル番号付品目、一般品目、またはラベルで、メンテナンス販売オーダーラインを定義できます。ラベルの利用により、アプリケーションのデータにリストされていない品目の修理を処理できます。受け取る故障品目にはラベルが割り当てられ、このラベルは [ラベル] フィールドのメンテナンス販売オーダーラインに保存されます。その後、メンテナンス作業サイクル全体を通じて、品目の指定にラベルを使用することができます。

ステップ 3: メンテナンス販売オーダーへの適用範囲ラインの追加または修正

適用範囲ラインは、負担する原価、請求する金額、および該当する契約や保証の適用対象となる金額を保存するラインです。多くの適用範囲ラインはメンテナンス販売オーダー処理で追加されますが、マニュアルで入力して追加費用を登録することもできます。

メンテナンス販売オーダー - 適用範囲ライン (tsmsc1120m000) セッションで直接、適用範囲ラインを表示、修正、および入力できます。また、メンテナンス販売オーダー (tsmsc1100m000) セッションまたはメンテナンス販売オーダー - 部品ライン (tsmsc1110m000) セッションの [特定] メニュー、またはメンテナンス販売オーダー (tsmsc1100m100) セッションの [適用範囲ライン] タブから適用範囲ラインにアクセスすることもできます。

労務単価の検索パス (サービス契約)

サービス契約およびサービス見積では、労務費の原価条件を定義するときに、LN で労務単価コードを取得する検索基準を指定することができます。このデフォルト設定された労務単価コードに基づいて、原価および販売単価を使用して労務費の原価条件の原価および販売額を計算します。

契約管理パラメータ (tsctm0100m000) セッションの [検索パス] フィールドで、労務単価コードの取得に使用する 3 つの属性を定義することができます。

LN では労務単価を次の順序で取得します。

- レベル 1
- レベル 2
- レベル 3

LN では、この検索基準を使用してサービス契約またはサービス見積の労務単価を指定します。労務単価がレベル 1 で指定されていない場合、レベル 2 で指定されている労務単価が考慮されます。労務単価がレベル 2 で指定されていない場合、レベル 3 で指定されている労務単価が考慮されます。

労務単価は、各レベルに定義されている次の有効値からデフォルト設定することができます。

- 部署
- サービスエリア
- シリアル番号付品目グループ
- 設置グループ
- 参照活動
- タスク
- スキル
- 適用なし

例

デフォルトの労務単価コードは、契約労務費条件 (tsctm1132m300) セッションで定義された労務費の原価条件に関連付けられている「タスク」から取得されます。「タスク」が指定されていない場合は、契約構成ライン (tsctm1110m300) セッションで定義された「参照活動」から取得されます。「参照活動」に労務単価コードが定義されていない場合、労務単価コードは「参照活動」の「サービス部署」から取得されます。

注意

ERP Enterprise では、2 つのレベルで同じオプションを選択することはできません。たとえば、「部署」にレベル 1 が設定されている場合、第 2 および第 3 レベルを「部署」に設定することはできません。

第1レベルの値が「適用なし」に設定されていない場合は、第2レベルのみ設定することができます。第2レベルの値が「適用なし」に設定されていない場合は、第3レベルのみ設定することができます。

メンテナンス販売オーダーを取り消すには

オーダーラインをすべて含むメンテナンス販売オーダー、または単一のメンテナンス販売オーダーラインを取り消すには、メンテナンス販売オーダーの取消-品目ライン (tsmsc1210m000) セッションを使用します。取消理由および取消日付を入力する必要があります。取消テキストの追加はオプションです。

販売オーダー (ライン) を取り消すには、以下の事項を確認する必要があります。

- 実際原価および収益がこの販売オーダーまたは販売オーダーラインに記録されていないこと
- オーダーおよび関連品目ラインの状況が [フリー] または [処理中] であること
- すべての品目ラインの状況が [取消] であること
- 理由コード、取消テキスト、および取消日付が販売オーダーに指定されていること

メンテナンス販売オーダーを取り消すと、以下の事項が適用されます。

- LN により、販売オーダー活動の状況が [取消済] に変更されます。
- LN により、販売オーダーに割り当てられた材料が取り消されます。
- 品目/材料がまだ出庫または入庫していない場合、LN により、販売オーダーに作成された倉庫オーダーが取り消されます。品目/材料が出庫または入庫している場合は、返品が作成されます ([転送] タイプの倉庫オーダー)
- コールから販売オーダーを作成すると、LN によりコールの状況が [解決済] に変更されます。
- 販売オーダーの実行に工具が必要な場合、工具所要量が見積工具所要 (titrp0111m000) セッションから削除されます

注意

ブロックされている販売オーダーを取り消すことはできません。

コール、サービスオーダー、販売オーダーをブロック解除するには

コール、サービスオーダー、およびメンテナンス販売オーダーをブロック解除するには、ブロック理由 (tsmdm1101m000) セッションを使用できます。

ブロック解除するには

1. ブロック理由 (tsmdm1101m000) セッションのブロックラインを選択します。
2. 適切なメニューの [発行] をクリックします。LN ERP により、[発行時間] フィールドが自動入力されます。

コールまたはオーダーがブロック解除され、コールまたはオーダーの処理を続行することができます。

デポ修理での原価ペギング

概要

サービスでは、原価ペギングを「デポ修理」モジュールに導入することができます。サービス原価はプロジェクト、要素、または活動にペギングできます。

プロジェクトをペギングするには、コールのプロジェクト、要素、または活動情報、そして契約、メンテナンス販売見積、メンテナンス販売オーダー、または作業オーダーを指定します。品目の原価をプロジェクトにペギングするために PCA ID の定義が必須である場合は、品目 (tcibd0501m000) セッションで [必須プロジェクトペグ] チェックボックスをオンにします。

ペギングが設定されたトランザクションの開始

ペグは、実際原価を登録するトランザクションで業務プロセスを開始するときにしか開始されません。例: コールおよびメンテナンス販売オーダー。

プロジェクト原価計算は、原価をペギングする計算です。原価はプロジェクト原価計算 ID を使用してペギングされます。次のようにして PCA ID を投入することができます。

- 新しいコール、契約、メンテナンス販売見積、メンテナンス販売オーダー、または外部作業オーダーを作成するときに、PCA ID を入力します。
- サービス契約で PCA ID を指定します。マニュアルで PCA ID を入力することもできます。

デポ修理処理でのペグの伝播

PCA ID は、結果として生じるトランザクションまで伝播されます (例: MSO へのコールから作業オーダーへ)。コール/契約/メンテナンス販売見積/メンテナンス販売オーダー/作業オーダーの状況が変わるまで、PCA ID を変更することができます。

サービス契約および構成ラインへのペグの伝播

サービスでは、コール/契約/メンテナンス販売見積/メンテナンス販売オーダー/作業オーダーをサービス契約にリンクし、PCA ID を契約から取得するかどうかを、サービス契約によって指定することができます。デフォルトでは、構成ラインで PCA ID をサービス契約ヘッダから取得します。構成ライン上のこのような PCA ID は、メンテナンス販売見積ライン、メンテナンス販売オーダー部品ライン、および作業オーダーまで伝播されます。

注意

状況が「フリー」または「有効」であるサービス契約の PCA ID を定義することができます。

コールへのペグの伝播

コールがサービス契約に関連付けられている場合、コールの PCA ID は、デフォルトではサービス契約ヘッダから取得されます。コールの状況が「フリー」の場合に、PCA ID を指定または修正することができます。修正の理由を指定する必要があります。

コールが (例: メンテナンス販売オーダーまたはサービスオーダーへ) 転送されずに解決した場合でも、このコールを請求することができます。原価は対応する PCA に記帳されます。原価構成要素を使用して、原価マッピング (tcpcs0149m000) セッションで原価マッピングを使用して適切なプロジェクト原価タイプを指定します。

メンテナンス販売見積へのペグの伝播

LN では見積ヘッダラインの PCA ID を、サービスコール、メンテナンス販売オーダー部品ライン、または作業オーダーのいずれかからデフォルト設定します。PCA ID がこれらの発生元からデフォルト設定されない場合は、シリアル番号付品目がサービス契約にリンクされていれば、LN ではこの ID をサービス契約構成ラインからデフォルト設定します。メンテナンス販売見積の状況が「フリー」の場合、PCA ID を指定または変更することができます。

メンテナンス販売オーダーへのペグの伝播

LN では、メンテナンス販売オーダーの PCA ID を発生元のコールまたはメンテナンス販売見積からデフォルト設定します。オーダー部品ラインの PCA ID は、サービスコールまたはメンテナンス販売オーダー部品ラインからデフォルト設定します。PCA ID がこれらの発生元からデフォルト設定されない場合、シリアル番号付品目がサービス契約にリンクされていれば、LN ではこの ID をサービス契約構成ラインからデフォルト設定します。メンテナンス販売見積の状況が「フリー」の場合、PCA ID を入力または変更することができます。

MSO 部品ラインの作業オーダーへのペグの伝播

デフォルトでは、PCA ID はメンテナンス販売オーダーから取得されます。設置グループまたは品目がサービス契約にリンクされている場合、PCA ID はサービス契約構成ラインから取得されます。PCA ID がこれらの発生元からデフォルト設定されない場合、シリアル番号付品目がサービス契約にリンクされていれば、LN ではこの ID をサービス契約構成ラインからデフォルト設定します。メンテナンス販売見積の状況が「フリー」の場合、PCA ID を指定または変更することができます。

リンク/発生元が作業オーダーであるメンテナンス販売オーダーへのペグの伝播

シリアル番号付品目がサービス契約にリンクされている場合、LN では (メンテナンス販売オーダーからリンクされている/発生している) 作業オーダーの PCA ID を、サービス契約構成ラインからデフォルト設定します。PCA ID がこれらの発生元からデフォルト設定されていない場合、シリアル番号付品目がサービス契約にリンクされていれば、LN ではこの ID をサービス契約構成ラインからデフォルト設定します。メンテナンス販売見積の状況が「フリー」の場合、PCA ID を入力または変更することができます。

フォローアップ作業オーダーへのペグの伝播

デフォルトでは、PCA ID は開始作業オーダーから取得されます。設置グループまたは品目がサービス契約にリンクされている場合、PCA ID はサービス契約構成ラインから取得されます。PCA ID がこれらの発生元からデフォルト設定されていない場合、シリアル番号付品目がサービス契約にリンクされていれば、LN ではこの ID をサービス契約構成ラインからデフォルト設定します。作業オーダーの状況が「フリー」の場合、PCA ID を入力または変更することができます。

デポ修理から LN 倉庫への材料要求の伝播

倉庫の材料を要求するために倉庫オーダーをサービスから作成するとき、品目 (tcibd0501m000) セッションで [プロジェクトペグの継承] チェックボックスがオンの場合にのみ、PCA ID が倉庫管理に伝播されます。倉庫管理では LN プロジェクトへの財務記帳用に PCA ID を使用します。倉庫管理では見込ペグ転送を次のように処理します。

例

品目 A を修理するために、サービスで材料 B および 材料 C を使用する必要があります。品目 B では、LN サービスでペグによって在庫を要求します。品目 C では、サービスでペグによって材料を要求します。これは、B および C の原価をプロジェクトにレポートする必要があるからです。

倉庫管理で、対応する PCA を使用して品目 B の在庫があるかどうかチェックされます。在庫不足の場合は、倉庫管理で、転送規則が適用されて LN サービス要求を満たすかどうかチェックされます。倉庫管理では見込ペグ転送をバックグラウンドで処理します。

品目 C でも処理は同じです。サービスで PCA を使用して材料を要求しますが、ペグが設定されていない品目 C の在庫があります。

品目 A の需要トランザクションに、材料 B および C を要求する peg123 があるという状況を考察します。品目 (tcibd0501m000) セッションの [プロジェクトペグの継承] チェックボックスが、材料 B については [はい]、材料 C については [いいえ] に設定されています。

	ペグの継承	原価ペギング先	倉庫への要求
材料 B	はい	P1E10A10	会計上の原価ペギング先:P1E10A10 在庫、ペギング元: P1E10A10
材料 C	いいえ	P1E10A10	会計上の原価ペギング先:P1E10A10 在庫、ペギング元: <空のペグ>

在庫内で材料 C にはペグが設定されていないので、原価はまだプロジェクトにペギングされません。ただし、材料 B はすでに原価がプロジェクトにペギングされているので、実際に出庫処理が実行されるときに、原価を再度プロジェクトに記帳する必要はありません。

購買オーダーを作成するためのペグの伝播

プロジェクトがペギングされている品目の場合、購買オーダーを作成すると、サービス (例: 外注) の PCA ID が LN オーダー管理に伝播され、対応するペグによって購買オーダーが作成されます。「購入」タイプの材料要求では、品目 (tcibd0501m000) の [プロジェクトペグの継承] チェックボックスがオンの場合にのみ、PCA ID が伝播されます。

時間を記帳するためのペグの伝播

サービスに時間を記帳すると、PCA は LN 従業員管理に転記され、作業オーダーに時間が記帳されます。

雑費またはベンチストック材料費の記帳

実際雑費またはベンチ在庫材料費をサービスで定義するときに、原価がPCLにログ記録されます。メンテナンス販売の適用範囲ラインで品目を定義すると、この品目を使用して適切なプロジェクト原価タイプが識別されます。品目を定義しない場合には、原価構成要素を使用して、原価マッピング (tcmcs0149m000) セッションで原価マッピングを使用する適切なプロジェクト原価タイプが識別されます。

メンテナンス販売オーダーの適用範囲ラインへのペグの伝播

メンテナンス販売オーダーの適用範囲ラインの原価計算をするときに、LN 中央請求で請求が作成されます。収益および原価が対応する PCA に記帳されます。収益および原価が対応する PCA に記帳されます。メンテナンス販売の適用範囲ラインで品目を定義すると、この品目を使用して適切なプロジェクト原価タイプが識別されます。品目を定義しない場合には、原価構成要素を使用して、原価マッピング (tcmcs0149m000) セッションで原価マッピングを使用する適切なプロジェクト原価タイプが識別されます。LN 中央請求では、実際原価の関連 PCA ID を受け取ります。

デポ修理の内部外注

概要

製品に不具合が発生した場合、顧客は修理を要求し、製品をサービス部署に送付します。サービス部署は製品を修理しますが、修理の部品は、別の法人に属する修理センタに外注します。したがって、内部請求は使用される実際材料費、実際に記帳される時間、および輸送費などの実際雑費に基づいて行われ、修理センタへの外注により発生する修理費も含める必要があります。

メンテナンス販売オーダーの作成

顧客が修理のため製品をサービス部署に送付すると、サービス部署はメンテナンス販売オーダー (tsmsc1100m000) セッションを使用してメンテナンス販売オーダーを作成します。例 サービス部署 (オランダ国内) が、顧客から欠陥修理のオーダーを受け取ります。サービス部署はメンテナンス販売オーダーを作成します。

作業オーダーの作成

サービス部署は作業オーダー (tswcs2100m000) セッションを使用して、修理センタへの作業オーダーを作成する必要があります。修理センタは修理活動を計画し、必要な材料/工具を確保します。例 サービスセンタが作業オーダーを作成し、この作業オーダーを自社サイトにある修理センタに割り当てます。

商品の出荷

顧客は欠陥製品を修理センタに送付します。例 顧客は製品をオランダ国内の修理センタに送付します。

製品の入庫

欠陥製品が修理センタに入庫します。

修理活動

修理センタでは製品を修理します。現行の修理センタで製品を修理できない場合は、修理作業を別の修理センタに外注できます。新しい修理センタで、製品の新しい修理オーダーを作成します。例 オランダ国内の修理センタで、最初の修理活動が開始されます。このサイトで製品を修理できない場合は、イギリス国内の別の修理サイトへの修理オーダーを作成し、製品をこの修理サイトに修理のために送付します。

製品の転送

製品を次の修理センタに転送します。例 製品がオランダ国内の修理センタから転送され、イギリス国内の修理センタで受け取られます。

修理センタでの修理

製品を修理し、使用した材料、費やされた時間などの原価をすべて作業オーダーに含める必要があります。内部請求が実施されると、作業オーダーで原価を適用可能にする必要があります。例 イギリス国内の修理センタは製品を修理し、すべての原価を作業オーダーに含めます。

顧客請求

製品の修理が保証または契約の元に行われた場合を除き、サービス部署は顧客に請求を行います。

内部請求

内部請求は、実際の修理費や固定修理価格に基づいて行います。内部請求に関しては、最初に製品を受け取ったサービス部署に、修理センタが請求する必要があります。内部請求はフォローアップ作業オーダーを基にしています。内部請求は、作業オーダーがクローズされる前に、作業オーダーのクローズ (tswcs2265m000) セッションを使用して作成する必要があります。請求書を作成するときに、追加費用を作業オーダーに記帳することはできません。内部請求は法的なレポートで必須であり、内部価格設定をサポートする必要があります。例: イギリス国内の修理センタが、(メンテナンス販売オーダーの) サービス部署に、実際原価または固定修理原価率に基づいて時間と材料に関する請求を行います。この内部請求は、すべての原価 (材料、時間、雑費) を作業オーダーに記帳するときに作成され、一切の変更はできず、すべての原価が内部で請求されます。内部請求には、次の価格方式を使用できます。

- 固定価格: 固定内部価格が指定されます。この価格は、修理または実際原価のタイプによって異なることはありませんが、修理する品目および企業単位に応じて変わるので、LN では価格帳 (tdpcg0111m000) のロジックを使用します。すべての原価ラインを、請求額をゼロにし、原価額を指定して請求に渡します。この製品の修理の固定修理価格を指定するときに、原価率は実際原価に応じて決まるわけではありません。品目が定期的に修理される場合に、この価格を使用できます。この場合、内部価格は既知であり、固定修理価格は平均修理費を反映するように設定されます。

- 時間と材料: 内部価格は実際原価に基づいているので、使用される材料、費やされる時間、および雑費に基づくことになります。すべての実際は個別に価格設定され、請求されます。原価のタイプは次のとおりです。

サポートされている価格発生元による材料価格設定

- 実際原価: 作業オーダー物的資源 (tswcs4110m000) セッションで指定された合計原価額を使用します。付加費用が適用可能です。
- 商業価格: 作業オーダーで発行された材料について、価格発生元が「商業価格」である場合、商業原価率を使用して内部請求での価格を決定します。価格帳 (tdpcg0111m000) の機能は、一般サービスパラメータ (tsmdm0100m000) セッションで定義されている [内部価格検索方法] と共に使用できます。注意: 企業単位にリンクされている内部取引先を使用して、価格を検索します。詳細については、内部商業原価率 (ページ 24) を参照してください。
- ゼロ価格設定: 価格発生元が「ゼロ価格設定」の場合、LN では請求書ラインを原価ゼロで作成します。

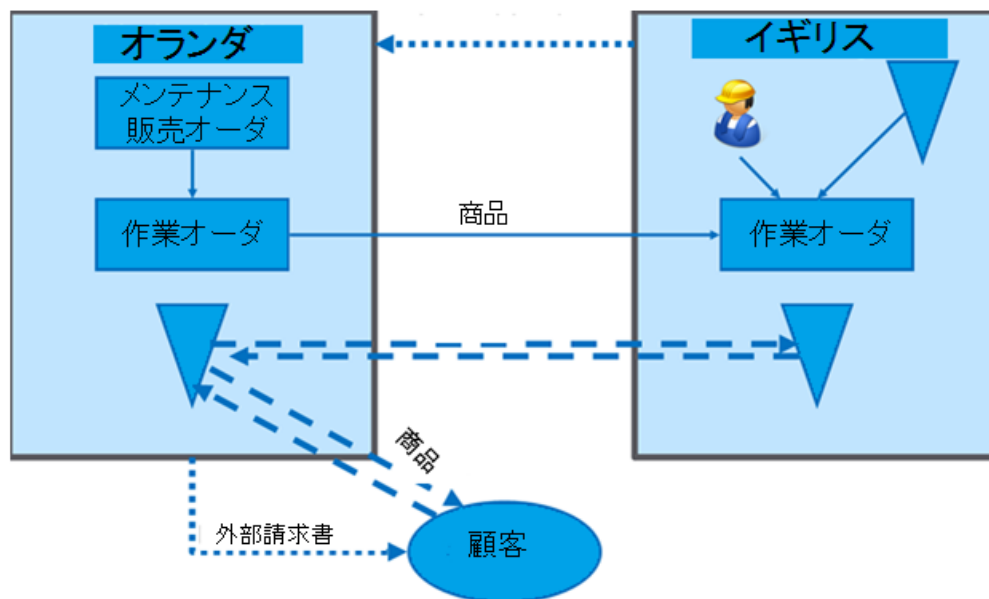
サポートされている価格発生元による労務価格設定

- 実際原価: 作業オーダー労務資源 (tswcs4120m000) セッションで指定されている実際原価額を使用します。追加で、付加費用が適用可能です。
- 商業価格: 労務の商業価格を決定するには、サービス部署 (tsmdm1100m000) セッションで定義されている [内部販売労務単価] を使用します。このサービス部署が、サービス部署 (tsmdm1100m000) セッションで定義されている特定の [労務単価] を使用して別のサービス部署のタスクを実行するときに、この 労務単価 で販売労務単価を指定します。内部取引先の労務単価を指定することができます。注意: 企業単位にリンクされている内部取引先を使用して、価格を検索します。詳細については、内部商業原価率 (ページ 24) を参照してください。
- ゼロ価格設定: LN 価格発生元「ゼロ価格設定」に関して、請求書ラインを原価ゼロで作成します。

雑費の価格設定

工具、移動、および輸送などの雑費に関して、実際原価 (付加費用あり、またはなし) に基づいた価格が適用可能です。雑費の価格設定では、次の価格発生元がサポートされています。

- 実際原価: 作業オーダーその他資源 (tswcs4130m000) セッションで指定されている実際原価額を使用します。付加費用が適用可能です。
- ゼロ価格設定: LN 価格発生元「ゼロ価格設定」に関して、請求書ラインを原価ゼロで作成します。



内部商業原価率

概要

内部価格では、材料および労務に商業価格を使用できます。さらに、単一の固定価格を指定することができます。これは、使用された実際材料費および費やされた時間について、支払う必要のある固定修理原価率です。

商業材料費

材料の関係詳細に関する価格発生元が「商業価格」である場合、作業オーダーで発行された材料について、商業原価率を使用して内部請求での価格を決定します。一般サービスパラメータ (tsmdm0100m000) セッションの [内部価格検索方法] フィールドを使用して、価格を取得します。次のオプションを使用できます。

- 価格帳 (サービス/販売): [デフォルトサービス価格帳] を使用します。この価格は、1つの取引先に固有にすることはできません。この価格帳が定義されていない場合には、[デフォルト販売価格帳] が使用されます。
- 価格帳 (転送): マトリックス定義 (tdpcg0110m000) セッションで [マトリックスタイプ] フィールドを [振替価格] に設定して価格帳 (転送) を使用し、2つの内部取引先間の内部販売価格を指定することができます。注意: LN では、企業単位にリンクされている内部取引先を考慮して、販売価格を検索します。
- 品目サービス価格: 品目 - サービス (tsmdm2100m000) セッションで定義された販売価格を使用します。この価格は内部請求にも使用できます。「サービス価格帳」および「価格帳 (転送)」が定義されていない場合には、品目サービス価格が使用されます。

商業労務単価

内部取引詳細 (tcemm2151m000) セッションで、労務価格設定の [価格発生元] を [廃止] に設定するには、サービス部署 (tsmdm1100m000) セッションの [内部販売労務単価] フィールドを使用します。サービス部署が別のサービス部署の作業を実行するときには、この労務単価で販売労務単価を指定します。内部取引先の [労務単価] は、商業労務原価率を使用して指定できます。

注意: 労務単価コードの販売単価のみを使用します。作業オーダーの実際原価を使用するので、単位原価は適用できません。

注意: LN では、企業単位にリンクされている内部取引先を考慮して価格を検索します。

販売価格の再計算およびメンテナンス販売オーダーとの契約のリンク

「メンテナンス販売オーダー (MSO) 部品ライン」および「適用範囲ライン」に関して価格設定データが修正された場合は、販売価格を再計算する必要があります。また、価格設定条件付サービス契約をメンテナンス販売オーダーにリンクしたり、そのリンクを解除したりすることもできます。

部品メンテナンスラインでの販売価格

メンテナンス販売オーダー - 部品メンテナンスライン (tsmsc1110m100) セッションで [価格設定方法] フィールドの値を [固定修理価格] に変更した場合、[販売価格] は、サービス契約 (契約価格タイプが [固定修理価格] に設定された価格設定条件が存在する場合) または品目 - サービス (tsmdm2100m000) セッションをもとにデフォルト設定されます。

メンテナンス販売オーダー - 適用範囲ライン (tsmsc1120m000) での [販売価格] および [合計販売額] は、[方法]、[価格設定契約]、[価格設定契約変更]、および [価格設定契約ライン] フィールドに基づきます。これらのフィールドの値が変更された場合は、価格および金額を再計算する必要があります。

価格設定方法 - メンテナンス販売オーダー - 部品メンテナンスライン (tsmsc1110m100) セッションで [価格設定方法] フィールドの値を [固定修理価格] に変更した場合、[販売価格] は、サービス契約に定義された販売価格にデフォルト設定されます。LN により、[価格発生元] フィールドの値が [その他] に設定されます。

価格設定契約ライン - メンテナンス販売オーダー - 部品メンテナンスライン (tsmsc1110m100) セッションにおいて、価格設定契約変更の結果として、[価格設定契約変更] または [価格設定契約ライン] フィールドの値が変更された場合は、メンテナンス販売オーダー - 部品メンテナンスライン (tsmsc1110m100) や関連するすべてのメンテナンス販売オーダー - 適用範囲ライン (tsmsc1120m000) で販売価格を再計算する必要があります。

部品貸付/部品納入/部品在庫ラインでの販売価格

販売価格は、適用可能なサービス契約 (契約価格タイプが [時間と材料] に設定された価格設定条件が存在する場合) または価格設定データをもとにデフォルト設定されます。

メンテナンス販売オーダー - 部品ライン (tsmsc1110m000) セッションで [品目]、[シリアル番号]、[変換済時間]、[シリアル番号]、[販売価格]、または [計画時間] フィールドが修正された場合も販売価格がデフォルト設定されます。

サービスオーダー (tsoc2100m000) セッションの [契約無視] チェックボックスは、活動ラインに有効な固定価格契約が存在し、かつその契約がリンク解除され、その販売価格がマニュアルで上書きされるかどうかを示します。

「部品メンテナンス/部品貸付/部品納入/部品在庫ライン」セッションで [ライン全体の価格/割引の再計算] オプションを使用すると、オーダーまたは活動全体の価格を再計算できます。価格および割引の再計算 (tsoc2240m000) セッションを開始します。このセッションを使用して、部品ラインおよびそれらに関連する適用範囲ラインのデフォルト価格/価格発生元を取得します。このセッションで [マニュアル価格の上書き] チェックボックスをオンにすると、マニュアルで修正した販売価格を、サービス契約に定義されたデフォルト販売価格で上書きできます。

適用範囲ラインでの販売価格

メンテナンス販売オーダー - 部品ライン (tsmsc1110m000) セッションで [品目]、[シリアル番号]、[変換済時間]、[シリアル番号]、[販売価格]、または [計画時間] フィールドが修正された場合、適用範囲ラインで販売価格が修正されます。

部品メンテナンスラインが部品在庫に変換されるか、部品貸付ラインが部品納入ラインに変換されると、関連する適用範囲ラインデータが修正されます。メンテナンス販売オーダー - 部品メンテナンスライン (tsmsc1110m100) セッションの [方法] フィールドが修正されるか、ライン作業手順が修正された場合は、関連する適用範囲ラインを削除する必要があり、新規の適用範囲ラインが作成されます。「部品メンテナンス/部品貸付/部品納入/部品在庫ライン」セッションで [状況] フィールドが [原価計算] に設定された場合は、メンテナンス販売オーダー - 適用範囲ライン (tsmsc1120m000) セッションで関連するすべての適用範囲ラインの [状況] が [原価計算済] に設定される必要があります。

販売価格は常に、部品貸付、部品納入、および部品在庫ラインをもとにデフォルト設定されますが、価格設定方法が固定修理価格に設定されているか、適用範囲ラインが「固定価格」タイプである場合、販売価格は部品メンテナンスラインをもとにデフォルト設定されます。

部品貸付、部品納入、および部品在庫ラインでは、[ライン発生元] フィールドが [部品ライン] に設定されているメンテナンス販売オーダー - 適用範囲ライン (tsmsc1120m000) セッションにおける販売価格が常に、当該部品ラインをもとにデフォルト設定されます。部品メンテナンスラインでは、[方法] が [固定修理価格]、[見積固定]、または [見積固定プラス] に設定されている場合、[ライン発生元] フィールドが [部品ライン] に設定されているメンテナンス販売オーダー - 適用範囲ライン (tsmsc1120m000) における販売価格が当該部品ラインをもとにデフォルト設定されます。

メンテナンス販売オーダー - 部品メンテナンスライン (tsmsc1110m100) セッションで [方法] フィールドが [時間と材料] に設定されている場合、販売価格はサービス契約または品目 - サービス (tsmdm2100m000) セッションをもとにデフォルト設定されます。

メンテナンス販売オーダー - 適用範囲ライン (tsmsc1120m000) セッションで販売価格をマニュアルで変更すると、LN により、[価格発生元] フィールドの値が [マニュアル] に設定されます。メンテナンス販売オーダー - 適用範囲ライン (tsmsc1120m000) セッションの [契約無視] チェックボックスは、有効な価格契約が存在し、かつその契約がリンク解除されるか、またはその価格がマニュアルで上書きされるかどうかを示します。

メンテナンス販売オーダー - 適用範囲ライン (tsmsc1120m000) セッションの [価格および割引] の再計算] オプションを使用すると、価格を再計算できます。

価格設定契約のリンク/リンク解除

価格設定条件付サービス契約を部品ラインにリンク/リンク解除するには、メンテナンス販売オーダー - 部品ライン (tsmsc1110m000) セッションの [契約のリンク/リンク解除] をクリックします。契約が部品ラインにリンクされている場合は、メンテナンス販売オーダー - 部品ライン (tsmsc1110m000) セッションのLN により、[価格設定契約]、[価格設定契約変更]、および [価格設定契約ライン] フィールドに値が入ります。この契約は、「時間と材料」契約または「固定修理価格」契約のいずれかになります。価格設定契約の詳細については、サービス契約の契約条件とサービス契約見積を参照してください。価格設定契約のリンク/リンク解除時は、関連する適用範囲ラインでの価格データが再計算されます。契約が固定価格契約にリンクされている場合は、[価格設定方法] フィールドが [固定修理価格] に設定されます。

「部品メンテナンス/部品貸付/部品納入/部品入庫ライン」セッションで [契約無視] チェックボックスがオン/オフになっている場合は、次のシナリオが考えられます。

- このチェックボックスがオンの場合、[価格設定契約]、[価格設定契約変更]、および [価格設定契約ライン] フィールドが指定されていると、有効なサービス契約がリンクされ、サービス契約の販売価格が却下されます。
- このチェックボックスがオンの場合、[価格設定契約]、[価格設定契約変更]、および [価格設定契約ライン] フィールドが指定されていないと、有効なサービス契約はリンクされません。
- このチェックボックスがオフの場合、[価格設定契約]、[価格設定契約変更]、および [価格設定契約ライン] フィールドが指定されていると、有効なサービス契約が存在し、価格設定条件データが使用されます。
- このチェックボックスがオフの場合、[価格設定契約]、[価格設定契約変更]、および [価格設定契約ライン] フィールドが指定されていないと、有効なサービス契約が存在しません。

注意

- [契約のリンク/リンク解除] オプションは、価格設定契約データが存在しないか、または部品ライン状況を修正できない場合にのみ無効になります。
- [契約のリンク/リンク解除] オプションは、契約管理パラメータ (tsctm0100m000) セッションで [サービス契約の価格の使用] チェックボックスがオンの場合のみ有効になります。
- [契約無視] チェックボックスは、契約管理パラメータ (tsctm0100m000) セッションで [サービス契約の価格の使用] チェックボックスがオンになっている場合のみ表示されます。

適切なメニュー

コマンドは、[表示]、[参照]、および [アクション] メニューに分散されているか、ボタンとして表示されます。旧リリースの LN および Web UI では、これらのコマンドは [特定] メニューに配置されます。

有効在庫

即時に、または将来の特定の日時に顧客に対して約束可能な品目の数量

有効在庫チェック

許容需要に基づいて顧客に約束可能な数量のチェック。有効在庫チェックのおもな目的は、予備部品または品目を一定の数量予約することです。

取引先

顧客または発注先などの、商取引を行う当事者。顧客や発注先となる部署を組織内で取引先として定義することもできます。

取引先の定義には次の情報が含まれます。

- 組織の名前と主要な住所
- 使用される言語と通貨
- 課税および法定 ID データ

取引先の担当窓口担当者を取引先とします。取引先の状況によって、処理が実行可能かどうかが決まります。処理のタイプ (販売オーダー、請求書、支払、出荷) は取引先の役割で定義します。

価格帳

指定された期間で有効な価格情報を保存できるエンティティ

価格帳には、次の要素が含まれています。

- 価格帳のコード、タイプ、および使用法を含む価格帳ヘッダ
- 品目を含む 1 つ以上の価格帳ライン

数量または価格境界値引スケジュールは価格帳にリンクできます。

サービスオーダー

顧客サイトまたは会社で示されているとおりに、構成に対するすべての修理とメンテナンスを計画、実行、および管理するためのオーダー

作業オーダー

品目に対するメンテナンス工場または修理工場でのすべてのメンテナンスを計画、実行、および管理するために使用するオーダー。作業オーダーは、少なくとも1つの作業オーダーヘッダで構成され、修理可能なサービス品目に対して実行する必要がある複数の活動を含むことができます。

労務単価

従業員管理の労務単価コード (tcppl0190m000) セッションに定義された労務単価コード。この労務単価コード内で、販売単価および単位原価が指定できます。

たとえば、次の項目に比較的広範囲の労務単価を割り当てることができます。

- サービス部署 (サービス部署が実行するすべての作業に関して)
- 設置グループ (設置グループで実行されるすべての作業に関して)

サービスオーダーパラメータ (tssoc0100m000) セッションでは、次の項目に対してデフォルトの労務単価検索パスを設定できます。

- 見積販売単価
- 見積単位原価
- 実際販売単価
- 実際単位原価

メンテナンス販売オーダー

顧客所有の構成要素と製品のメンテナンス、および予備部品のロジスティック処理を計画、実行、および管理するために使用するオーダー

適用範囲タイプ

保証または契約が適用される作業の範囲、および請求可能な活動の部分を示す財務上の分類

メンテナンス販売オーダーライン

メンテナンス、貸付、置換、納入、または受領する必要がある品目の全詳細を保存するライン

適用範囲ライン

負担する原価、請求する金額、および適用可能な契約や保証の適用対象となる金額を保存するライン。ほとんどの適用範囲ラインは、メンテナンス販売オーダー処理を通じて追加されますが、マニュアル入力することもできます。

サービスタイプ

サービスプロバイダが提供するサービス分類。サービスタイプは、どの利用性タイプをサービスオーダーヘッダに適用するかを決定し、デフォルトのオーダー手順と適用範囲タイプを示します。

索引

適切なメニュー, 29
有効在庫, 11, 29
有効在庫チェック, 29
取引先, 29
価格帳, 29
サービスオーダー, 30
 ブロック解除, 17
代替品目, 11
有効在庫日付, 12
作業オーダー, 30
内部外注、内部外注デポ修理, 21
内部商業原価率, 24
労務単価, 30
メンテナンス販売管理 (MSC), 7, 15
サービス契約と見積, 16
メンテナンス販売オーダーの取消, 17
メンテナンス販売オーダー, 30
 取消, 17
サービスオーダーまたは販売オーダーのブロック
解除, 17
オーダーのブロック解除, 17
コールのブロック解除, 17
適用範囲タイプ, 30
メンテナンス販売オーダーライン, 30
適用範囲ライン, 30
サービスタイプ, 30
価格、割引、および金額の再計算, 25
メンテナンス販売オーダーとの契約のリンク, 25
